

**別紙資料****生徒質問紙の回答に見られる篠路中生徒(3年生)の特徴****1. 全国と比べて、肯定的な回答や積極的な回答が多いもの**

質 問 事 項	
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
12	人が困っているときは、進んで助けていますか
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
28 -2	1, 2年生の時の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、わからないことがあった時に、すぐ調べることができる
28 -4	1, 2年生の時の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、画像や動画、音声等活用することで、学習内容がよくわかる
43	国語の勉強は大切だと思いますか

**2. 全国と比べて、否定的な回答や消極的な回答が多いもの**

質 問 事 項	
9	自分には、よいところがあると思いますか
11	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
14	困りごとや不安があるときに、学校の先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
16	学校に行くのは楽しいと思いますか
18	友達関係に満足していますか
24	新聞を読んでいますか
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
50	数学の勉強は好きですか
52	数学の授業の内容はよく分かりますか
56	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか

**3. 篠路中生徒の特徴から**

積極的な回答が多い質問事項からは、日常生活の充実やいじめに対する意識が高く、環境が整っていることがうかがわれます。人が困っているときには助けるという意識が高いです。

否定的な回答や消極的な回答が多い質問事項からは、自分の困り感には対応しきれていなく、不安な気持ちが出ているようです。そのため、積極的に行動したりすることが難しくなっているようです。

また、自己肯定感も高くなく、教科に関しては自信のなさからくる、苦手意識が感じられます。学校では今後これらの情報を生かし、御家庭や地域の皆様に御協力や御支援をいただき、生徒たちが充実した学校生活と感じられるように質の向上を図っていきたいと思います。

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要と改善の方向【国語】

本校の概要

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ・全国平均を上回っている。

□「情報の扱いに関する事項」

- ・全国平均とほぼ同程度である。

□「我が国の言語文化に関する事項」

- ・全国平均を下回っている。

□「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均を下回っている。

□「書くこと」

- ・全国平均を下回っている。

□「読むこと」

- ・全国平均を下回っている。

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内

課題

- 文の成分相互の関係を捉えること。

- 意見と根拠の関係を理解すること。

- 行書の特徴や文字の書き方について理解すること。

- 話し合いの内容と資料の関係を適切に理解すること。

- 表現の効果についての理解を深め、それを自分の文章に活かすようになること。

- 文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈すること。

改善の方向

- 文の成分の順序や照応に注目して文章を読み直し、分かりやすい文章に整えていく活動の充実。

- 話し合う際に、意見とそれを支える根拠を示して発言できているかなど、発言を振り返る活動の充実。

- 日本の伝統的文化とその特質に関する授業の充実。特に書写の時間の充実。

- 資料の読み取りやそれに関わる話し合い活動の充実。

- 表現の効果を理解し、それを用いた文章を書く活動の充実。

- 図表と文章との関連を確認するなどして、書き手の伝えたい内容を正確に読み取る活動の充実。

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要と改善の方向【 数学 】

本校の概要

□「数と式」

- ・全国平均を下回っている。

□「図形」

- ・全国平均を下回っている。

□「関数」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「データの活用」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

※「ほぼ同程度」は、全国  
の平均正答率と比較して±3  
ポイントの範囲内

課 題

●等式を目的に応じて変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。

●条件を保ったまま動かした図形を観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すこと。

●2つの数量の関係について、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

●複数の集団のデータ分布から、四分位範囲を比較すること。

改善の方向

○成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明し合うなどの学習活動の充実。

○図形の性質を考察する場面において、観察や操作、実験などの活動を通して、成り立つと予想される事柄を見だし、その事柄が成り立つことを論理的に考察し表現する学習活動の充実。

○問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする学習活動の充実。

○日常生活や社会の事象を題材とした問題などについて、解決するために計画を立て、必要なデータの分布傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の学習活動(PPDAC)の充実。